

阪大微研会、新しい肺炎球菌ワクチン開発に向けて 大阪大学とライセンス契約締結

一般財団法人阪大微生物病研究会（以下、「阪大微研会」）は、国立大学法人大阪大学（以下、「大阪大学」）との間で、大阪大学による肺炎球菌※1 表層タンパク質 A（以下、「PspA」）を含む肺炎球菌ワクチン特許の出願※2 及びこれに基づき得られる特許権（以下、「特許権等」）に関し、特許権等実施許諾契約を締結いたしました。

- 1.PspA ワクチンは、臨床分離株の 96%以上をカバーする新しいタイプの肺炎球菌ワクチンである。
- 2.阪大微研会は、PspA ワクチンを対象とする特許権等の全世界における独占的实施権及び第三者への再実施許諾権を取得した。

PspA は、全ての肺炎球菌に共通する表層タンパク質抗原で、血清型を超えて多様な肺炎球菌に対する感染防御能を誘導できるワクチン候補として注目されています。PspA ワクチンは、血清型に依存する従来型ワクチンと異なり臨床分離株の 96%以上をカバーすることができるため※3、実用化されれば、世界で最も有効な肺炎球菌ワクチンとなる可能性があります。阪大微研会は 2018 年の臨床試験開始を目指し研究開発を行う計画です。

近年、肺炎球菌による疾患は抗菌薬の耐性を獲得した株の増加により治療が難しくなっているため※4、ワクチンによる予防が重要です。肺炎球菌ワクチンは、小児では 2013 年 4 月より、高齢者では 2014 年 10 月よりそれぞれ定期接種の対象となりました。しかし、予防接種実施※5により、ワクチンに含まれる血清型による疾患が予防される一方で、それ以外の血清型に起因する疾患が増加することが知られており、全ての肺炎球菌に対して有効なワクチンが求められています※5。

阪大微研会はこの契約により、PspA ワクチンを対象とする特許権等の全世界における独占的实施権及び第三者への再実施許諾権を取得しました。

本契約締結は、“日本発、世界初”のワクチン開発を目指す阪大微研会の目標に合致したものであり、将来的には、日本国内のみならず、海外への製品供給も視野に入れた事業展開を目指しています。

今回の契約締結にあたり、阪大微研会の理事長 山西弘一は次のように述べています。「小児から高齢者まで多くの人々の健康に貢献するために、大阪大学微生物病研究所との連携によって、より早くワクチンを世に出すことができるよう研究開発を進めてまいります。」

以上

News Release



- * 肺炎球菌は、市中肺炎の主要な原因菌であり、重篤な感染症である髄膜炎、肺炎、中耳炎なども引き起こします。
- ** 肺炎球菌ワクチンは、小児では2010年11月より子宮頸がん等ワクチン接種促進事業による公費助成が始まり、2013年4月より定期接種化されました。

参考文献

- ※1 Protective properties of a fusion pneumococcal surface protein A (PspA) vaccine against pneumococcal challenge by five different PspA clades in mice. *Vaccine*. 2014 Sep 29;32(43):5607-13
- ※2 「肺炎球菌表面タンパク質 A を含む肺炎球菌ワクチン」 PCT/JP2013/058401。
- ※3 PspA Family Distribution, unlike Capsular Serotype, Remains Unaltered following Introduction of the Heptavalent Pneumococcal Conjugate Vaccine. *Clin Vaccine Immunol* 2012;19:891-6.
- ※4 「小児侵襲性感染症由来肺炎球菌の細菌学的解析から見た肺炎球菌結合型ワクチンPCV7の効果」:IASR Vol. 34 p. 64-66: 2013年3月号
- ※5 2013年度の侵襲性肺炎球菌感染症の患者発生動向と成人患者由来の原因菌の血清型分布 —成人における血清型置換 (serotype replacement) について—: IASR Vol. 35 p. 179-181: 2014年7月号

一般財団法人阪大微生物病研究会について

一般財団法人阪大微生物病研究会（阪大微研会）の歴史は長く、1934年に創設されました。以来80年余にわたり大阪大学微生物病研究所における先駆的基礎研究をもとに、新規ワクチンの開発を行い、多くの重要なワクチンの製造・供給に従事することで、国内のみならず世界中の人々の感染症の予防に貢献してきました。当会の主なワクチンには水痘ワクチン、インフルエンザワクチン等が含まれます。これからも公益性を重視しつつ、事業の発展を目指します。全職員が使命感を持って高品質ワクチンの安定供給を継続するとともに、革新的次世代ワクチンの開発・提供を通じて、世界中の人々の健康ならびに生活の質（QOL）の向上に資する事業を推進してまいります。

本件に関するお問い合わせ先

一般財団法人阪大微生物病研究会 広報担当 磯野
TEL:0875-25-4175、e-mail: isonoh@mail.biken.or.jp